

環境に配慮した先進的農業の発展を目指して

帯広畜産大学・畜産科学課程・農業環境工学ユニット

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地

(最寄り駅：JR 帯広駅)

E-mail : tsuji@obihiro.ac.jp, muneoka@obihiro.ac.jp,

masa-k@obihiro.ac.jp

農業環境工学ユニットでは、農業農村工学と農業システム工学を主とする理論に基づき、北海道十勝地域で営まれる大規模農業を支える先進技術と、その農業体系を持続可能にする環境保全技術について学びます。具体的には、地域の農業環境を対象に、水と土の科学、かんがい排水、農村整備、田園の自然再生などの土木・計画学手法、バイオエネルギーの生産と利用、農業機械・施設の開発と自動化、農作業システムなどの工学的手法、さらに農林地の気象・地盤・環境情報などの評価手法について、基礎と応用の両面を講義と実験・実習を通じて学ぶことができます。さらに、専門性を深めるため、耕地防風林の多面的機能、農地周辺を流れる水質保全対策、農業におけるICTの活用、農業車両の走行特性、畜産廃棄物などの生物系廃棄物の再資源化、寒冷地の自然エネルギー利用などに関する研

農業環境工学ユニット

農業農村工学 農業システム工学

農村計画 農作業機械
河川水の水質 気候変動 精密農業
土地改良 環境調整工学
灌漑排水 土質工学 バイオマス
GIS(地理情報システム) 畜産機械施設
雪氷冷熱 農業環境整備

農業環境工学ユニットの教育・研究分野

究に携わることもできます。また、近年の傾向として、本学への女性の入学者の増加に伴い、本ユニットにも多くの女性が所属し、意欲的に取り組んでいます。さらに、社会に出てからも本学・本ユニットで学んだことを活かし、活躍しています。

資格取得：学芸員任用資格、高等学校一種免許状（農業・*理科）*理科は他ユニット科目履修を要する。

就職先：農林水産省、国土交通省北海道開発局、都道府県および市町村、農業関連団体、環境・建設コンサルタント、土木建設会社、農業機械製造・販売会社、一般機械・施設関連企業、コンピュータ・IT関連企業、国際協力派遣職員